

■ 文化祭～感動をありがとう～

10月31日（土）、「文化祭」が開催されました。今年度の文化祭は、新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な行事日程が変更となり、年度当初の予定から約1ヶ月ほど遅い10月最後の土曜日開催となりました。また、年度当初から合唱練習の自粛のため、本校の伝統として行われてきた開祭式の大地讃頌の全校合唱を中止しました。さらに、吹奏楽部演奏は9月中旬に実施するなど、例年とは異なる日程や文化祭内容で取り組んできました。そんな中であっても教科作品展示、文芸部作品展示など、日頃の授業や部活動などの取り組みの成果を存分に発表しました。文化祭当日は、各学級、各学年、全校生徒が文化を発信することを通して感動を共有し分かち合う1日となりました。

午前中の合唱コンクールでは、各学級が日々練習を積み重ねてきた成果を十分に発揮して、心のこもった素晴らしい演奏を披露してくれました。そして、一生懸命取り組んだことが自信や誇りの気持ちに変化し、生徒の皆さんも充実感や達成感を得ることができたと思います。審査員の矢巾町教育委員会指導主事の 先生からも感動のあまり一つ一つの学級へのコメントをいただきました。

文化祭を成功させるには、生徒一人一人が、各学級が、各学年が、そして全校が、生徒会執行部の企画・運営に誠心誠意協力し団結することが大切です。これまでの取組の中で、困難や悩みを抱えながらも合唱練習などに取り組み、その困難を乗り越えて努力したことが素晴らしい作品や発表に結び付いたと思います。生徒の皆さんの姿から『一生懸命は格好良い！』と改めて思いました。また、文化祭の取り組みが進むほど、各学級の教室環境が良くなり、真摯に取り組んでいる空気感が感じられました。「文化祭」で創造して得た様々な力を、これからの学校生活の中で活かして、さらに磨きをかけて欲しいと思いました。

最後に改めて生徒の皆さんに一言・・・『感動をありがとう！』

■ 県新人大会後期 大健闘！ 女子バドミントン団体優勝 バドミントン・柔道個人戦優勝

11月14日（土）～15日（日）、岩手県中学校新人大会後期日程が開催されました。本校からは男女バドミントン団体戦及び個人戦、柔道個人戦、剣道個人戦に出場しました。

バドミントンは一関市総合体育館で熱戦が繰り広げられました。女子団体は、1回戦大東中と対戦し2-0、2回戦衣川中と対戦し2-0、準決勝南城中と対戦し2-1、決勝赤崎中と対戦し2-1で優勝しました。また、女子ダブルス個人戦でも さんが優勝、女子シングル個人戦でも さんがベスト8に進出しました。その他の女子個人戦、男子団体戦及び個人戦も健闘し、最後まで全力で戦いました。

柔道競技は、宮古市総合体育館で開催されました。女子個人戦で さんが優勝、 さんが準優勝、男子個人戦で さんがベスト8に進出しました。応援など態度も良く、チーム一丸となって戦う姿勢が印象に残りました。

剣道競技は岩手県営武道館で開催されました。男子個人戦に出場しました。残念ながら勝利を逃しましたが、気迫を感じさせる果敢な試合展開でした。

今後の大きな目標は来年度の中総体です。これからの冬の時期をいかに活動していくかが重要となります。県大会で明らかになった成果と課題を洗い出し、具体的な対策を考えて、じっくり秋から冬、そして来年度の初夏に向けて練習を積み重ねて力をつけて欲しいと思います。

生徒の皆さんの今後の健闘を期待しています。そして、来年度の中総体でのさらなる飛躍を期待しています。そのためにも日々の当たり前の練習の積み重ねを大事にして鍛錬に努めてほしいです。そして、日頃からのご家庭や地域の皆さんからのご支援、ご協力、応援に感謝しましょう。

